


理想なトイレのレイアウト

※参照：TOTO 株式会社

オフィスを考えるポイントはここ！


オフィスのトイレは多忙なオフィスワークの中で気分転換できる場所。仕事の合間にリラックスする時でなく、同僚とのコミュニケーションの場にもなっています。

身だしなみ配慮（男性トイレ・女性トイレ共通）
洗面コーナーとスタイリングコーナーを分離する事で、落ち着いて化粧を直したり、身だしなみを整える事が出来るよう計画します。又、口腔ケアの為歯みがき器を設置するといでしょう。



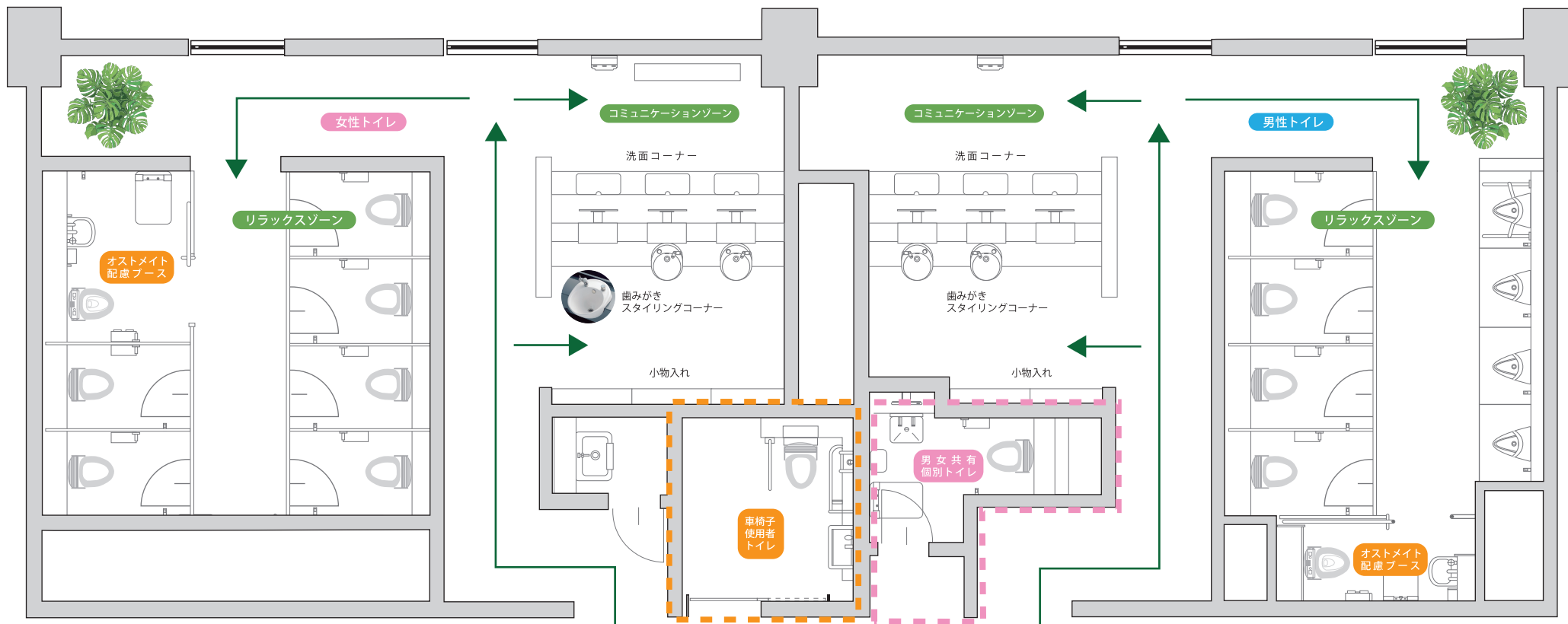

洗面コーナーやスタイリングコーナーでは同僚とのコミュニケーションが図れ、リフレッシュできる空間づくりを考慮します。例えば、自然光を取り入れるなど明るい空間づくりが重要です。

コミュニケーションゾーン




リラックスゾーンはプライバシーの尊重が重要。交流の場であるコミュニケーションゾーンと離してレイアウトすることで気兼ねなくリラックスできる空間づくりを図ります。

リラックスゾーン

使い勝手はそのままに、より一段とコンパクト化・節水を実現。オストメイトとは、人工肛門・人工膀胱を造設している人を表しています。外見では見分けがつかない内部障がい者ともいわれています。

オストメイト配慮ブース



入り口付近に車椅子使用者トイレを設置し「車椅子使用者」が快適に使えるように、便器や手すりの前手を抑え、ライニング付きでもコンパクトな設計です。

車椅子使用者トイレ



車椅子使用者トイレとは別に、性別を問わず、様々な方が利用できる、男女共有個室トイレを設置。お昼休みの混雑時や性的マイノリティの方の利用など用途を問わずだれでも利用できるトイレです。

男女共有個別トイレ

性的マイノリティ配慮について
LGBTとはレズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダーの頭文字を合わせたものを言います。トランスジェンダーとは生まれたときに割り当てられた性別とは異なるアイデンティティを持つ人 LGBTと呼ばれる性的少数者は「10人に1人」いると言われています。まだまだ認知度は低いのが現状ですが社会の理解や、自治体や企業の対応がきちんと向き合う必要があります。